

平成 29 年 6 月 12 日

養父市議会議長 深 澤 巧 様

養父市文化会館（仮称）建設調査特別委員会  
委員長 足 立 隆 啓

養父市文化会館（仮称）建設調査特別委員会中間報告

当特別委員会において調査したことを、次のとおり中間報告する。

記

1 調査年月日 平成 29 年 4 月 17 日（月）、5 月 19 日（金）

2 調査事項

- (1) 建設事業の進捗状況について
- (2) 管外所管事務調査について

3 調査内容

市民生活部会館建設準備室から建設事業の進捗状況について報告を受け、管外視察先において、類似施設の建設までの経過や施設の概要等の説明を受けた。

(1) 当局の説明による養父市文化会館（仮称）建設事業の進捗状況について

ア 養父市文化会館（仮称）建設基本構想

基本構想策定委員会から基本構想素案の答申を受け、その後パブリックコメントを行い、養父市文化会館（仮称）基本構想を策定した。

基本構想の概要は、文化芸術振興の場、生涯学習の場、情報発信の場、まちづくりの場、市民の憩いの場であることを事業方針として、ホール機能、公民館機能、図書館機能、公園機能を備えた施設としている。建設候補地は、ゲンゼ八鹿工場跡地としている。

イ 養父市文化会館（仮称）建設基本計画

基本構想をもとに、基本計画策定業務の契約候補者を公募型プロポーザル方式により特定し、応募のあった 7 者を評価委員会が審査した結果、平成 29 年 3 月 31 日付けで株式会社昭和設計神戸事務所と 594 万円で業務委託契約を締結した。履行期限は、平成 29 年 8 月 31 日までとなっている。

委託業務の概要は、業務計画、他事例調査、施設の規模・機能の検討、施設整備計画の検討、整備手法、概算事業費の検討、維持管理・運営手法の検討、基本計画（案）の作成、基本計画検討会議の支援等としている。

今後のスケジュールは、平成 29 年 6 月から 7 月に地域自治組織単位のタウンミーティングで事業説明を行い、8 月には基本計画（案）のパブリックコメントを実施し、9 月には基本計画を策定する。10 月には基本設計・実施設計の業務委託を行い、平成 31 年 3 月に工事発注し、平成 32 年 12 月に工事完了、平成 33 年 4 月開館予定となっている。

## (2) 管外所管事務調査

### ア 市川町文化センター（ひまわりホール）

総合文化施設（複合施設）として設置している。

ホール 650 席（車いす席 4 席を含む）、図書館（一般書約 4 万 7,000 冊、児童書約 1 万 8,000 冊）、橋本忍記念館、敷地面積 1 万 9,337 m<sup>2</sup>、建築面積 3,765 m<sup>2</sup>、総事業費約 31 億 5,000 万円（建設費約 22 億円、設計・管理費約 1 億 3,000 万円、用地費約 8 億 2,000 万円）である。

平成 12 年 4 月にオープンし、17 年が経過している。平成 8 年 2 月建設に向け検討委員会を設置、同年 5 月に基本構想策定、同年 7 月に町民フォーラム（180 人参加）を開催、平成 9 年 6 月基本設計、平成 10 年 10 月工事着手、平成 12 年 2 月に完成している。

議会には、6 人の委員で構成する建設特別委員会を設置した。候補地の選定は、4 カ所の中から検討委員会が交通アクセスを優先し現位置に決定している。

複合施設のメリットは利用者の相乗効果が期待できること、デメリットは図書館の併設でホールのイベント時に大きな音や人の流れに気を使う必要があるとのことである。

ホールの客席数は、当時の町内中学校全生徒を一堂に収容できる数をもとに決定した。

施設は、ホール 4 人、図書館 3 人のほか、シルバー人材センターからの人材派遣 6 人で管理されている。

なお、公民館施設は各地区に設置しているため、総合公民館としての機能は有していないとのことであった。

### イ 相生市文化会館扶桑電通なぎさホール

文化会館（単独施設）として設置している。

大ホール 606 席（車いす席 4 席を含む）、中ホール定員 260 人、小ホー

ル定員 60 人、敷地面積 1 万 619 m<sup>2</sup>、建築面積 3,506 m<sup>2</sup>、総事業費約 31 億 9,800 万円（建設費約 30 億 2,700 万円、設計・管理費約 1 億 7,100 万円、用地費は土地開発公社所有地）である。

平成 28 年 4 月にオープンし、1 年が経過している。平成 23 年 12 月に基本計画を策定、平成 24 年 1 月から建設に向け建設市民会議（委員 10 人）を 9 回開催、平成 24 年 9 月基本設計、平成 25 年 1 月から地元説明会を 3 回開催、平成 26 年 7 月工事着手、平成 27 年 12 月に完成した。

議会には建設調査特別委員会の設置はせず、常任委員会で報告を受け議論した。候補地の選定は 5 カ所の中から、相生港周辺にあり、他施設と合わせ総合的な活性化が期待できることから現位置に決定した。

大ホールの客席数は、近隣市町のホール（赤穂市 1,168 席、たつの市 1,100 席、太子町 800 席）の状況から、市民の利用を中心とした事業を展開することを目的として、それに見合う規模を決定している。

施設は、5 人の職員で管理されている。

公民館は各地区に設置され、図書館も他に建設しているため、文化会館単独の施設となっている。

相生市文化会館は、財源確保を図るため命名権の公募を行い「扶桑電通なぎさホール」と決定し、知名度や集客力の向上も期待されている。

#### 〈まとめ〉

今回の調査は、養父市文化会館（仮称）建設事業の現在までの進捗状況、管外の類似施設である総合施設・単独施設の事務調査を行った結果をまとめた中間報告である。

今後は今回の調査を参考に、市民の文化芸術振興と生涯学習の場所としての施設整備に向け、引き続き慎重に調査を行う予定である。